

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2021年1月13日

【四半期会計期間】 第36期第3四半期（自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）

【会社名】 株式会社メディカル光グループ

【英訳名】 Medical Ikkou Group Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 南野 利久

【本店の所在の場所】 三重県津市西丸之内36番25号

【電話番号】 059 - 226 - 1193（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務取締役 櫻井 利治

【最寄りの連絡場所】 三重県津市西丸之内36番25号

【電話番号】 059 - 226 - 1193（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務取締役 櫻井 利治

【縦覧に供する場所】 株式会社メディカル光グループ 東京支店
（東京都港区六本木一丁目4番5号 アークヒルズサウスタワー3階）
株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第35期 第3四半期 連結累計期間	第36期 第3四半期 連結累計期間	第35期
会計期間		自 2019年3月1日 至 2019年11月30日	自 2020年3月1日 至 2020年11月30日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高	(千円)	24,044,729	23,484,264	32,042,454
経常利益	(千円)	914,786	839,130	1,225,378
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	594,227	687,188	801,993
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	630,272	521,593	771,480
純資産額	(千円)	10,029,716	10,286,088	10,170,924
総資産額	(千円)	26,643,598	27,249,918	26,193,649
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	311.73	363.74	420.73
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	37.6	37.7	38.8

回次		第35期 第3四半期 連結会計期間	第36期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年9月1日 至 2019年11月30日	自 2020年9月1日 至 2020年11月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	103.14	134.33

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

連結子会社でありました株式会社メディケアサポート及び有限会社ツルカメ調剤薬局は、2020年3月1日付で、連結子会社である株式会社メディカル光を存続会社として合併いたしました。

(ヘルスケア事業)

連結子会社である株式会社ハピネライフ光は、2020年11月1日付で株式会社ライフケアの全株式を取得し連結子会社としております。

この結果、2020年11月30日現在では、当社グループは、当社、連結子会社11社及びその他の関係会社1社により構成されております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年11月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、経済活動の停滞など年初より一変した状況は依然として厳しさが続いております。このような環境のもと、当社グループは感染防止対策を徹底し、患者様、利用者様、ならびに社員の安全確保に取り組み事業活動の継続に努めてまいりました。

調剤薬局事業におきましては、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」(改正薬機法)により薬局の認定制度導入等が示され、2020年9月からは、必要に応じた服薬期間中のフォローアップが義務化されるなど、求められる役割は大きく変化してきております。当社グループは、安全性を最優先とし、かかりつけ薬局、在宅業務など薬剤師が期待される役割を果たし、地域社会から信頼される薬局づくりに取り組んでおります。

ヘルスケア事業におきましては、介護サービス利用者の増加に伴い多様化するニーズに応える事業展開を行うとともに、コロナ禍における介護サービスの社会的重要性が再認識されるなか、安定的な介護人材の確保および介護サービスの質の向上に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高23,484百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益739百万円(前年同期比18.9%減)、経常利益839百万円(前年同期比8.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は687百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う医療機関への受診抑制等の影響により、応需処方箋枚数は減少し減収となりました。緊急事態宣言の解除後には、応需処方箋枚数は緩やかな回復傾向が見られたものの、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しており、引き続き厳しい事業環境となりました。薬局運営につきましては、各種経費の削減を図りました。この結果、売上高は16,556百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益980百万円(前年同期比5.4%減)となりました。なお、当第3四半期末における当社グループの調剤薬局は合計93店舗となっております。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、感染対策を徹底したうえで介護サービスを提供してまいりました。有料老人ホーム等については継続的な入居者確保を推進いたしました。2020年11月には、愛知県で有料老人ホーム等を運営する株式会社ライフケアをグループ化し、同社売上等が寄与し増収となりました。一方で、訪問介護、通所介護については、新型コロナウイルスの感染リスクを懸念した利用控えが影響し利用者数は減少しました。また、株式会社ライフケアのM&Aに係る経費・手数料52百万円を計上しております。この結果、売上高4,791百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益144百万円(前年同期比46.1%減)となりました。なお、当第3四半期末における当社グループの居住系介護施設は、グループ化した株式会社ライフケアの施設を加え合計42施設、1,417床となっております。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外来診療の抑制や営業活動の制限等に加え、2020年4月に行われました薬価改定の影響により、厳しい事業環境で推移しました。この結果、売上高1,967百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益46百万円(前年同期比16.9%減)となりました。(内部売上を含む売上高は2,736百万円となり、前年同期比で0.4%減少しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高168百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益86百万円(前年同期比14.4%減)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却損益306百万円を計上しております。

財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は27,249百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,056百万円増加いたしました。

流動資産の合計は12,161百万円となり、前連結会計年度末と比較して21百万円減少いたしました。これは主に、売掛金が281百万円増加し、現金及び預金が238百万円減少したこと等によるものです。固定資産の合計は15,088百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,078百万円増加いたしました。これは主に、のれんが658百万円、有形固定資産のその他が228百万円、投資その他の資産のその他が175百万円、敷金及び保証金が167百万円それぞれ増加し、投資有価証券が205百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は16,963百万円となり、前連結会計年度末と比較して941百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)及び短期借入金が1,173百万円、流動負債のその他が334百万円それぞれ増加し、買掛金が406百万円、賞与引当金が209百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は10,286百万円となり、前連結会計年度末と比較して115百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が526百万円増加したものの、自己株式が261百万円増加し、その他有価証券評価差額金が158百万円減少したこと等によるものです。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000
計	6,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年1月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,035,000	2,035,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,035,000	2,035,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年9月1日～ 2020年11月30日		2,035,000		917,000		837,050

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 156,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,877,900	18,779	
単元未満株式	普通株式 400		
発行済株式総数	2,035,000		
総株主の議決権		18,779	

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社メディカルー光 グループ	三重県津市西丸之内36番25号	156,700		156,700	7.70
計		156,700		156,700	7.70

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年9月1日から2020年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,694,164	5,455,511
売掛金	4,660,787	4,942,752
商品	1,141,289	1,062,147
その他	690,571	704,737
貸倒引当金	3,282	3,517
流動資産合計	12,183,529	12,161,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,309,768	6,299,773
土地	3,158,317	3,223,718
その他(純額)	518,720	747,397
有形固定資産合計	9,986,805	10,270,889
無形固定資産		
のれん	1,209,292	1,868,189
その他	164,195	161,597
無形固定資産合計	1,373,488	2,029,787
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,689	944,583
敷金及び保証金	739,583	907,076
その他	760,553	935,950
投資その他の資産合計	2,649,826	2,787,610
固定資産合計	14,010,120	15,088,287
資産合計	26,193,649	27,249,918
負債の部		
流動負債		
支払手形	38,978	40,777
買掛金	3,332,745	2,926,074
短期借入金	35,000	284,873
1年内返済予定の長期借入金	3,099,860	3,182,583
未払法人税等	345,354	297,271
賞与引当金	219,351	9,508
その他	928,659	1,263,306
流動負債合計	7,999,950	8,004,395
固定負債		
長期借入金	6,777,703	7,618,231
リース債務	265,165	255,433
退職給付に係る負債	595,389	687,626
その他	384,516	398,143
固定負債合計	8,022,774	8,959,433
負債合計	16,022,724	16,963,829

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	853,083
利益剰余金	8,572,458	9,098,736
自己株式	280,002	541,555
株主資本合計	10,046,505	10,327,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,134	43,496
退職給付に係る調整累計額	9,283	2,320
その他の包括利益累計額合計	124,418	41,175
純資産合計	10,170,924	10,286,088
負債純資産合計	26,193,649	27,249,918

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	24,044,729	23,484,264
売上原価	21,438,136	21,094,342
売上総利益	2,606,593	2,389,921
販売費及び一般管理費	1,695,461	1,650,677
営業利益	911,131	739,244
営業外収益		
受取利息	822	1,124
受取配当金	12,455	14,662
受取保険金	-	17,463
助成金収入	18,201	105,331
その他	22,313	21,802
営業外収益合計	53,793	160,384
営業外費用		
支払利息	45,629	39,564
損害賠償金	-	17,468
その他	4,508	3,464
営業外費用合計	50,138	60,497
経常利益	914,786	839,130
特別利益		
固定資産売却益	8,821	2,231
投資有価証券売却益	22,914	308,671
補助金収入	32,000	-
特別利益合計	63,736	310,903
特別損失		
固定資産売却損	43	117
固定資産除却損	3,648	257
固定資産圧縮損	32,000	-
投資有価証券売却損	-	2,517
賃貸借契約解約損	1,000	2,506
特別損失合計	36,691	5,399
税金等調整前四半期純利益	941,830	1,144,634
法人税、住民税及び事業税	471,902	542,450
法人税等調整額	124,299	85,003
法人税等合計	347,603	457,446
四半期純利益	594,227	687,188
親会社株主に帰属する四半期純利益	594,227	687,188

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	594,227	687,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,009	158,631
退職給付に係る調整額	1,963	6,962
その他の包括利益合計	36,045	165,594
四半期包括利益	630,272	521,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	630,272	521,593

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社であった株式会社メディケアサポート及び有限会社ツルカメ調剤薬局は、連結子会社である株式会社メディカル光と合併したため、連結の範囲から除外しております。

また、当第3四半期連結会計期間より、新たに全株式を取得した株式会社ライフケアを連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループの店舗、事業所等の営業は通常通り行っておりますが、外出自粛等の影響は当面続くものと考えております。

当社グループ事業への影響は各事業によってその影響度は異なり、当連結会計年度中は影響を受けますが、徐々に回復していくものと想定して固定資産の減損会計等の会計上の見積りをしております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染状況によっては想定と異なり損失が発生する可能性があります。

上記について、当四半期連結会計期間において重要な変更はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
減価償却費	468,483千円	458,911千円
のれんの償却額	143,929千円	144,913千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 取締役会	普通株式	76,247	40.00	2019年2月28日	2019年5月7日	利益剰余金
2019年9月18日 取締役会	普通株式	76,247	40.00	2019年8月31日	2019年11月5日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月26日 取締役会	普通株式	85,778	45.00	2020年2月29日	2020年5月1日	利益剰余金
2020年9月30日 取締役会	普通株式	75,131	40.00	2020年8月31日	2020年11月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,156,554	4,708,970	2,003,732	175,471	24,044,729	-	24,044,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	274	742,281	1,980	744,535	744,535	-
計	17,156,554	4,709,244	2,746,013	177,451	24,789,265	744,535	24,044,729
セグメント利益	1,036,812	268,419	56,380	101,283	1,462,895	551,764	911,131

(注) 1 セグメント利益の調整額 551,764千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用617,724千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,556,642	4,791,595	1,967,135	168,891	23,484,264	-	23,484,264
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	769,253	1,620	770,873	770,873	-
計	16,556,642	4,791,595	2,736,389	170,511	24,255,137	770,873	23,484,264
セグメント利益	980,756	144,565	46,876	86,712	1,258,911	519,667	739,244

(注) 1 セグメント利益の調整額 519,667千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,024,226千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首に、当社の連結子会社である株式会社ハピネライフ光の事業の一部を会社分割し、同じく連結子会社である株式会社ヘルスケア・キャピタルへ承継いたしました。

この組織再編に伴い、第1四半期連結会計期間から、従来「ヘルスケア事業」に属していた賃貸不動産管理事業を「不動産事業」に移管しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ライフケアの全株式を取得して連結子会社としたことにより、「ヘルスケア事業」セグメントにおいて、のれんの金額が803,810千円増加しております。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定した金額であります。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社連結子会社である株式会社ハピネライフ光は、2020年9月30日開催の取締役会において、株式会社ライフケアの全株式を取得し子会社化することを決議し、2020年11月1日付で株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社ライフケア
事業の内容	有料老人ホームの運営他

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、「良質の医療・介護サービスをより多くの人に提供する」という理念のもと、調剤薬局事業、ヘルスケア事業、医薬品卸事業、不動産事業の4事業を展開しております。

ヘルスケア事業におきましては、事業会社である株式会社ハピネライフ光を中心に居住系介護施設28施設の運営を主力に、多様な介護サービスを提供しております。

株式会社ライフケアは、愛知県において、居住系介護施設14施設の運営や通所介護事業などの介護事業を運営しております。今般、同社が当社グループに加わることで、超高齢社会の進展に伴い介護分野の市場がますます拡大するなか、ヘルスケア事業の規模拡大および収益確保を図り、企業価値の向上につながると判断いたしました。

(3) 企業結合日

2020年11月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社連結子会社である株式会社ハピネライフ光が、現金を対価として株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2020年11月1日から11月30日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得価額につきましては、当事者間の守秘義務により非開示とさせていただきます。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

803,810千円

なお、のれん金額は、当第3四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定した金額であります。

(2) 発生原因

取得原価が企業結合時における時価純資産額を上回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

(3) 償却方法及び償却期間

効果の発現する期間にわたる均等償却。なお、償却期間については、取得原価の配分の結果を踏まえて決定する予定であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	311円73銭	363円74銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	594,227	687,188
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	594,227	687,188
普通株式の期中平均株式数(株)	1,906,183	1,889,181

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

2020年9月30日開催の取締役会において、2020年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	75,131千円
1株当たりの金額	40円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年11月4日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年1月13日

株式会社メディカルー光グループ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	原	田	誠	司	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	牧	野	秀	俊	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メディカルー光グループの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年9月1日から2020年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メディカルー光グループ及び連結子会社の2020年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。